

令和 2 年 9 月の解説（府県天気予報）

【9 月の天候状況】

上旬は、日本の南東から東海上で太平洋高気圧が強く、高気圧の縁辺を回って湿った空気が流入しやすかったことや前線の影響で、北・東・西日本太平洋側と沖縄・奄美を中心に曇りや雨の日が多くなりました。1 日から 2 日にかけては大型で非常に強い台風第 9 号が沖縄地方を通過し東シナ海を北上しました。また、5 日から 7 日にかけては大型で非常に強い台風第 10 号が奄美地方を通過し、勢力を維持したまま九州の西海上を北上し長崎県を通過しました。これら相次ぐ台風の影響で、6 日には西米良（宮崎県）で日降水量が 364.5mm、7 日には野母崎（長崎県）で日最大瞬間風速が 59.4m/s と、ともに観測史上 1 位の値を更新するなど、西日本と沖縄・奄美を中心に大雨や大荒れとなった所がありました。また、上空の寒気の影響で大気の状態が不安定となり、北・東日本日本海側でも大雨となった所がありました。降水量は、東日本と西日本太平洋側、沖縄・奄美で多くなりましたが、低気圧の影響を受けにくかった北日本太平洋側では少なくなりました。日照時間は北・東・西日本太平洋側と沖縄・奄美で少なかった一方、湿った空気の影響を受けにくかった北日本日本海側でかなり多く、東日本日本海側で多くなりました。気温は、暖かい空気が流入しやすかったことや台風に向かって強い南風が吹き込んだ影響で、北日本、東日本、西日本でかなり高く、北日本では平年差+3.7℃で 1961 年の統計開始以来、9 月として 1 位の高温となりました。また、北陸地方を中心にフェーン現象が発生し、3 日には三条（新潟県）で日最高気温が 40.4℃と、全国の気象官署及びアメダスで、9 月として初めて 40℃を超えました。

中旬は、北日本、東日本、西日本では、前線が本州付近に停滞しやすかったほか、前線上に発生した低気圧が北日本をゆっくりと北東進しました。また、オホーツク海をゆっくり南東進した高気圧からの湿った空気が流入しやすい時期もありました。このため、曇りや雨の日が多く、西日本日本海側や北日本を中心に大雨となった日がありました。降水量は西日本日本海側でかなり多く北日本で多くなりましたが、前線や湿った空気の影響を受けにくかった東日本太平洋側では少なくなりました。日照時間は北日本日本海側と西日本太平洋側でかなり少なく、北・東日本太平洋側と西日本日本海側で少なくなりました。気温は、北日本と東日本では、南からの暖かい空気が流入しやすかったため高くなりましたが、大陸からの寒気の影響を受けた時期もあった西日本では平年並となりました。沖縄・奄美では、気温は、暖かい空気に覆われやすかったため高くなりました。太平洋高気圧に覆われて晴れた日もありましたが、前線の影響を受けた日もあったため、降水量と日照時間は平年並となりました。

下旬は、東日本、西日本と沖縄・奄美付近では、旬の中頃にかけて前線が停滞しやすかったほか、低気圧や湿った空気の影響を受けやすかったため、太平洋側と沖縄・奄美を中心に曇りや雨の日が多くなりました。また、日本の南から北上した台風第 12 号が、24 日には関東の南東海上で温帯低気圧に変わり、27 日にかけて北海道の東海上へ北上したほか、24 日から 26 日には本州南岸と日本海を低気圧が東進した影響で大雨となった所がありました。降水量は東日本日本海側と西日本太平洋側で多くなりましたが、低気圧や前線の影響を受けにくかった北日本日本海側では少なくなりました。日照時間は北日本太平洋側と沖縄・奄美で少なくなりました。気温は、北日本では暖かい空気が流入しやすかったため高くなりました。東日本、西日本と沖縄・奄美では、大陸や北からの寒気の影響を受けた時期があったため平年並となりました。

【9 月の検証結果】

17 時発表の天気予報による「降水の有無」の全国平均の適中率は、明日予報は例年値^(注)より 6 ポイント低い 76%で、明後日予報は例年値より 3 ポイント低い 74%でした。地方別の適中率では、明日予報は、北陸地方と九州北部地方で例年値を上回りました。また、明後日予報は、東海地方で例年値と同じ、北陸地方で例年値を上回りました。

同じく 17 時発表の天気予報による明日の最高気温の予報誤差は、全国平均で例年値より 0.2℃小さい

1.5℃で、すべての地方で例年値よりも小さくなりました。また、最低気温の予報誤差は、全国平均で例年値より 0.3℃小さい 1.0℃で、すべての地方で例年値よりも小さくなりました。

(注) 例年値は気象庁HP(予報精度検証)内「月毎の精度の例年値」を参照してください。

【11月の天気予報の利用にあたって】

11月は冬型の気圧配置となる頻度が次第に増え、北日本や日本海側を中心にみぞれや雪の降る日が多くなります。雪が降れば視界が悪くなり、積雪や凍結により路面が滑りやすくなるなど、降雪量が少なくても交通や生活にとって大きな障害となります。雪の予報や雪に関する気象情報に気をつけて、雪への備えを心がけてください。